

東台遺跡 第 54 地点

遺跡名	東台遺跡
よみがな	ひがしだいいせき
調査地点	第 54 地点
主な時代	縄文時代早期 (約 7000 年前)
調査地	富士見市大字水子字東台 4451-2、4536、4538 他
調査面積	2980.31 m ²
調査期間	平成 30 年 11 月 27 日～12 月 4 日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代早期の炉穴 12 基</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文土器</p> <p>【概要】</p> <p>東台遺跡は、柳瀬川を臨む武蔵野台地縁辺部に位置しています。当遺跡ではこれまでに弥生時代後期の方形周溝墓 3 基や同時代の竪穴住居跡約 10 軒、平安時代の竪穴住居跡 65 軒や掘立柱建物跡が調査され、縄文時代においても炉穴や土坑が確認されています。</p> <p>今回確認された炉穴は、12 基もの炉穴が重なって検出されており、使用していた炉穴が崩れた後も何度も掘り起こして、煮炊きを行っていたようです。</p> <p>煮炊きによって、火熱を受けた炉床面は赤く焼けて硬化しており、かなりの火力で煮炊きを行っていたものと思われます。</p>



検出された炉穴群



赤く焼けた炉床面